

## ジェームズ・J・ヘックマン著、古草秀子訳、大竹文雄解説『幼児教育の経済学』（新刊紹介）

著者	岡部 正義
権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a>
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	243
ページ	53-53
発行年	2015-12
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2344/00003062">http://hdl.handle.net/2344/00003062</a>

## 『ジェームズ・J・ヘックマン著、古草秀子訳、大竹文雄解説 『幼児教育の経済学』』

東洋経済新報社、二〇一五年



本書は、幼児教育の重要性を論じたエッセイ集である。原著は二〇一三年に出版されている。著者は労働経済学を中心に多数の重要研究を生み出してきた国際的に著名な経済学者である。特に選択バイアスを計量経済学的に処理するヘックマンの二段階推定法（参考文献③）を開発してその後多くの経済学分野に影響を及ぼし、二〇〇〇年にノーベル経済学賞を受賞したが、既に半世紀近く前から人的資本研究を牽引してきた。幼児教育もその流れに位置づけられるだろう。

本書は、「ペリースクールプロジェクト」と「アベセダリアンプロジェクト」という一九六〇〜七〇年代にアメリカで実施された二つの無作為実験的な幼児教育介入プログラムの実証分析に主に基づいている。いずれもエスニシティや貧困度の点で周縁的な家庭背景にある乳幼児に対するプログラムで、数十年の大規模追跡調査を可能とした。構成は、パート1「子供たちに公平

なチャンスを与える」、パート2「各分野の専門家によるコメント」、パート3「ライフサイクルを支援する」の三部、そして大阪大学・大竹文雄教授による「解説」で締めくく

られる。本書の詳しい学術的要点は大竹教授による「解説」を参照されたい。ここではごく簡単なサマリーと読後感をお伝えして「新刊紹介」としたい。

著者らの一連の研究成果は、技能は生涯にわたって累積的に蓄積されるものであるというライフサイクル技能形成の理論（参考文献②④）を理論的背景としつつ、実証分析から、教育介入は早期であればあるほど効果が大きく、IQや教科の点数などの認知スキルだけでなく、協調性や自立性、忍耐力といった非認知スキルの向上にむしろ奏功している点が強調される。非認知スキルは、認知スキルと同様に、労働市場における評価につながるし（参考文献①）、人生の質（QOL）そのものも高めるためのスキルと考えられる。

本書に躍動感を与えているのはパート2だろう。教育学・社会学・心理学者、教育実務関係者など各専門家が、著者の仕事に賛辞とともに、コメントや反論を展開する。例えば、幼児教育が親（特に母親）にも影響するという相互作用性（五三ページ）、父親の重要性（五四ページ）、実験規模の小ささへの疑義（六一ページ）、思春期の重要性や脳の知的・社会的スキルの展性（六五ページ）、そして、幼児教育の重要性を説くだけでなく効果的なプログラムを作るとすればどうすればいいのが具体性ある議論の必要——この指摘は教育学を追求する者にとって当然の問題意識であろう——（八五ページ）などである。そしてパート3で著者はライフサイクルを再び強調し、パート2に同意や反・反論を展開し、本書の主張は一層強化される。

著者らの研究はアメリカなど先進国を超えて大きな影響力を持ってきた。途上国の「持続可能な開発」を進めるうえでも早期教育・就学前教育の見直しが進んでいる（参考文献④）。この分野においては、社会科学だけでなく生体機序の理解も不可欠であり、文理の学際も求められる（参考文献①）。加えて、乳幼児期が貧困や暴力、ストレスなどさまざまな恐怖や欠乏に脆弱であるという当然の事実を改めて痛感させられる。経済学や教育学だけでなく、さらに特定社会や特定国を超え保護と教育を兼ね合わせて人間の安全

保障の理念を追求していく際の臨界期として乳幼児期がある、と含意しているように感じたのは深読み過ぎだろうか。本書の効率性と公平性、公正性にまたがる議論はポスト2015の教育開発を考えるうえで避けて通れない問題になりつつある。経済学の巨人と各専門家との討論を平易なエッセイ集のスタイルで伝える本書から幼児教育の意義を一つでも多くを学びたい。

（おかべ まさよし／アジア経済研究所 出版企画編集課）

### 《参考文献》

- ① 伊藤成朗「早期児童教育介入と効果 発現メカニズム（特集：国際教育開発協力のこれまで・これから）」『アジア研ワールド・トレンド』二〇一四年（一月号）二〇一四年、三九—四四ページ。
- ② Cunha, F.; J. J. Heckman; L. Lochner; and D. V. Masterov, "Interpreting the Evidence on Life Cycle Skill Formation," *In Handbook of the Economics of Education*, vol. 1, edited by E. A. Hanushek and F. Welch. Elsevier: 2006, pp.697-812.
- ③ Heckman, J. J., "Sample Selection Bias as a Specification Error," *Econometrica* 47, no.1, 1979, pp.153-61.
- ④ Sachs, J. D., *The Age of Sustainable Development*, Columbia University Press, 2015.